

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	訪問看護推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～	担当課室	指導課 在宅医療推進室	室長：福原康之				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県において、訪問看護推進協議会を設置し、訪問看護の推進方法等に関する課題を協議するとともに、訪問看護に関する実態調査及び各年度における訪問看護推進事業の企画・調整等を行い、訪問看護の推進に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	訪問看護を推進するため各都道府県において訪問看護推進協議会の設置、訪問看護ステーションと医療機関の看護師の研修等の実施、在宅医療に関する普及啓発事業を実施する。 補助率：国1/2、都道府県1/2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	278	256	161	64		
		補正予算						
		繰越し等						
		計	278	256	161	64		
		執行額	56	51	51			
	執行率 (%)	20.1%	19.9%	31.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	訪問看護推進協議会の設置(47都道府県)		成果実績	県	31	32	27	30
			達成度	%	66	68	57	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	相互研修の実施(47都道府県) ①訪問看護ステーションの看護師の研修 ②医療機関の看護師の研修		活動実績 (当初見込み)		①24 ②25	①23 ②24	①18 ②19	- (①25②25) (①25②25)
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	訪問看護推進協議会経費	36	0	「医療提供体制推進事業」に統合				
	訪問看護ステーションの看護師研修	10	0					
	医療機関の看護師の研修	5	0					
	訪問看護ステーション間の研修	9	0					
	在宅医療普及事業	4	0					
	計	64	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>訪問看護推進事業は、訪問看護事業所の看護の質の向上や訪問看護師の人材育成を行う唯一の事業として、全国的にニーズ高い事業であるが、これまで執行率が低い状況で推移していた。</p> <p>その原因について、都道府県及び関係団体にニーズ調査を行ったところ、事業のメニューが多岐にわたっており、内容も重複していることから、利用者から見てわかりにくい内容となっていた。</p> <p>そこで、研修事業については、訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修に、訪問看護ステーションに勤務する看護師が、お互いの知識を養ったり技術を向上するための訪問看護ステーション間の研修を新たに追加し、これまでの在宅ターミナルケア研修、在宅ターミナルケアアドバイザー派遣事業、訪問看護管理者研修事業、高度在宅看護技術実務研修事業のメニューを事業統合した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られているところであり、事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
51百万円

※補助率1/2

【補助】
A 都道府県 (35)
51百万円

- ・訪問看護推進協議会
- ・訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修
- ・在宅医療普及啓発事業

【委託(企画競争)】
B 訪問看護ステーション (8)
8百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.福岡県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	福岡県看護協会(研修事業)	8			
人件費	講師謝金等	1			
その他	旅費・需用費	1			
計		10	計		0
B.宗像市医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	訪問看護師賃金	1			
報償費	指導看護師への謝金	1			
その他	旅費・需用費	1			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	10		
2	静岡県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	4		
3	神奈川県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	4		
4	千葉県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	4		
5	新潟県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	3		
6	福井県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	2		
7	大阪府	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	2		
8	北海道	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	1		
9	熊本県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	1		
10	山口県	訪問看護推進協議会の運営、在宅医療に関する看護師の研修等	1		

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宗像市医師会	訪問看護充実の検討、訪問看護介護の一体型事業	3		
2	訪問看護ステーションわかさ	訪問看護充実の検討、訪問看護介護の一体型事業	2		
3	福岡県看護協会	訪問看護充実の検討、訪問看護介護の一体型事業	1		
4	ひと息の村訪問看護ステーション	訪問看護充実の検討、訪問看護介護の一体型事業	1		
5	その他(4訪問看護ST)	訪問看護充実の検討、訪問看護介護の一体型事業	1		
6					
7					
8					
9					
10					